

静岡県の 学校図書館

令和7年6月発行

発行：静岡県総合教育センター

総務企画・ICT推進課生涯学習推進班

電話：0537-24-9715

メール：sogokyouiku-soumuict@pref.shizuoka.lg.jp

令和7年度静岡県総合教育センター主催研修・講座案内

研修 案内

紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修

対象：教職員（小・中・高・特・私学・事務局）

学習指導要領において、学校図書館には「学習センター」「情報センター」としての機能が求められています。本研修では、探究的な学習に学校図書館を活用する意義と方法について、講義や演習を通して実際の指導の手がかりを得ることを目的としています。

未来を生き抜く子どもたちに確かな情報活用能力を身に付けさせるためには、教科書や図書資料、インターネットなど多様な情報源を効果的に組み合わせることが重要です。GIGA スクール構想のもと、1人1台端末による学びが広がるなかで、紙とデジタルのベストミックスによる授業づくりへの理解を深め、学校図書館の可能性を改めて見直す機会となることを目指します。

講義：「著作権と教育活動・学校図書館」

講師：静岡県立中央図書館職員

講演：「紙とデジタルのベストミックスによる授業づくり」

講師：青山学院大学 准教授 庭井史絵 氏

開催日：令和7年9月26日(金)

会場：静岡県総合教育センター

申込：全国教員研修プラットフォーム(Plant)からお申し込みください。
右の二次元コードからアクセスできます



講座 案内

令和7年度みんなでつくろう学校図書館講座

対象：教職員、学校司書、学校図書館ボランティアなど

今年度は、学校図書館の「環境整備」に焦点を当て「整理収納」と「図書の更新」の視点から、図書館をより使いやすく、心地よい空間に整えるための具体的な方法を学ぶ講座を開催します。

講師は、東京都内の小中学校で学校司書として勤務され、整理収納アドバイザーとしても活躍されている勝呂由紀氏です。限られた時間とスペースでもできる整理収納の工夫や、図書の更新(除籍・廃棄)の基本について、具体的な事例を交えて、実務に即したかたちで、わかりやすくお話しいたします。後半には、展示にも使える「本の額縁づくり」のワークや、参加者同士の意見交換の時間も設け、すぐに現場で生かせるヒントが得られる内容です。

併せて、「ブックトーク入門」も実施します。

ブックトークの基本的な構成や進め方を学びながら、実演や参加者同士のミニブックトークを通して、子どもたちに本の魅力を伝える技法を学びます。

講義：「ブックトーク入門」

講師：静岡県立中央図書館職員

講演：「図書館空間をスッキリ快適に

整理収納×図書更新のコツ」

講師：東京都内小中学校司書 勝呂 由紀 氏

開催日：令和7年8月25日(月)

会場：静岡県総合教育センター

その他：申込み方法や詳細は下のURLまたは二次元コードからご確認ください。
<https://x.gd/Syn0W>



イベント 案内

第42回東海地区学校図書館研究大会(静岡大会)

令和7年度の静岡県教育研究会
学校図書館研究部夏季研究大会
および静岡県高等学校図書館研究
会研究大会は、第42回東海地区
学校図書館研究大会(静岡大会)とかねて開催
されます。東海4県の学校図書館関係者が一堂に
会し、日々の実践や課題を共有し、これからの
学校図書館のあり方を考える貴重な機会です。

記念講演には、『しごとば』シリーズや『大ピンチ
ずかん』でおなじみの絵本作家・鈴木のりたけ氏
をお迎えします。

このほかにも、県内外からの多彩な実践発表や、
講話・ワークショップがあり、学びと刺激にあふれ
た構成です。ぜひ、ご参加ください。

詳細、申込方法については、下のURLまたは
二次元コードより「静岡県教育研究会」のサイトを
ご覧ください。

静岡県教育研究会

学校図書館研究部夏季研究大会のご案内
https://skyken2.sakura.ne.jp/conv/conv_dtl.php?taikai_atc_id=15230



【大会主題】

知識をつなげる 学びをひろげる

心をはぐくむ 学校図書館

～本に出会い、本に関わり、本と生きる～

【開催日】令和7年8月6日(水)、7日(木)

【主催】静岡県教育研究会学校図書館研究部
静岡県高等学校図書館研究会
東海地区学校図書館連絡協議会
公益社団法人全国学校図書館協議会

【会場】静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ

【内 容】

記念講演(6日)

演題 「おもしろがると せかいが ひろがる」

講師 鈴木のりたけ 氏(絵本作家)

分科会及び講義(7日)

【申込期間】令和7年7月17日(木)まで

【参加費】3,000 円(資料代含む)

ただし、静教研会員は1,000 円

【問い合わせ先】大会運営事務局(実行委員長)

澤崎 忍(掛川市立桜木小学校)

電話 0537-22-4322

学校 図書館 情報

学校図書館で気をつけたい著作権のはなし

学校図書館では、図書だよりへの図書の表紙画像の掲載、委員会活動での図書の一部のコピーや掲示、読書イベントで学校のサイトに掲載するなど、著作権に関わる場面が少なくありません。「教育目的だから」「非営利だから」といった理由ですべてが許されるわけではなく、現場では判断に迷うこともあります。そんなときは独自の判断に頼らず、信頼できる資料や専門機関で確認することが大切です。

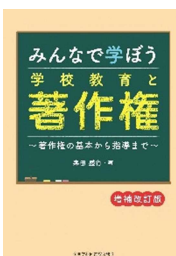
近年は、新聞やDVDにくわえ、インターネット上の記事や画像、動画など、多様な著作物を使う機会も増えています。図書館に関わる私たちは、まず「著作権に注意が必要な場面がある」と気づくこと、そして児童生徒や教職員と一緒にその大切さを共有し、理解を深めていけるとよいですね。

著作権について詳しく調べたいときは、信頼できる関連書籍や相談機関を活用しましょう。学校図書館運営の心強い味方になります。

■主な著作権関係団体

- 公益社団法人 著作権情報センター
<https://www.cric.or.jp/>
※「著作権テレホンガイド」(電話相談)
電話:03-5333-0393
(平日 10 時～12 時 13 時～16 時)
専任の相談員に電話で直接相談できます。
- 一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)
<https://sartras.or.jp/>
- 一般社団法人 教科書著作権協会(JACTEX)
<https://www.jactex.jp/>
- 一般社団法人 日本書籍出版協会(JBPA)
<http://www.jbpa.or.jp/>

■書籍紹介



『みんなで学ぼう 学校教育と
著作権：著作権の基本から
指導まで 増補改訂版』
森田盛行/著 全国学校図書館協議会
(2024 年)

学校現場の疑問に具体的なQ&Aで
わかりやすく解説しています。